

事件や事故への予防や対応



ママ 羽田空港には、ターミナルの安全管理を行う防災センターがあるの。24時間体制で、いろいろなできごととそなえているのよ。“できごと”といったのは、ここで防ぐのは災害だけではなく、ということなの。

ソラチョ 事故とか？

ママ そう。それ以外にも、ハイジャック、テロなどの犯罪や人災などにもそなえているのよ。そのために、どんなことをしていると思う？

バスタ すぐに思いつくのは「訓練」かなあ。

ママ それも行っているわ。そのほか、対応マニュアルをしっかりと整えておく、緊急連絡体制をいつも確認しておく、などといったことがあるわ。大きな空港には、空港警察署があって、事件や事故があったら警察官がすぐにかけて対応できるようにしているのよ。羽田空港には、2014年にテロ対策の専門部隊「警視庁東京国際空港テロ対処部隊」ができて、空港の安全を守っているの。

バスタ そういえば、羽田空港で警察官がセグウェイに乗っているのを見たことあるよ。



セグウェイで空港内をパトロールする警察官。

ヤッコ 警察官がいてくれると安心ね。でも、ターミナルの外での事件や事故への対応は、いったいどうなってるの？

ママ 滑走路にとまっている飛行機や、離陸、着陸をしようとしている飛行機への対策が必要になるわね。まず、事故をなくすために一定の気象条件の場合は、飛行機の離着陸を禁止しているのよ。

ソラチョ 台風のときは、よく欠航のニュースが出ているよね。

ミツチ 台風などで、飛行機に強い横風が吹いているときは、飛行機が横方向に流されたり、機体がかたむいたりして、操縦がむずかしくなるの。空港の風向風速計で、一定の強さ以上の風が吹いているときは、飛行機を離着陸させないように決められているわ。

ヤッコ 滑走路に積もった雪は、とりのぞかないと離着陸ができないしね。

ママ あと、雷も要注意よ。空港に雷が落ちそうな警報が出たときは、エプロンや誘導路などで動いている作業員は、落雷の危険性があるため、安全な屋内に避難するの。



羽田空港でテロ対策の訓練をする「警視庁東京国際空港テロ対処部隊」。

バスタ そっか、まわりで作業する人がいないと、飛行機は離着陸できないもんね。

ノンキー 前に、滑走路で放水訓練をしている写真を見たことがあるよ。

ママ たぶん、ノンキー君は、空港の消火訓練の写真を見たのね。空港には消防隊があつてね、いざというときのために定期的に訓練をしているの。

ノンキー 事故や災害が起きたときに活躍する、空港の特殊車両って、なにかあるかな。

ママ ノンキー君は、重機や特殊車両が本当に好きね。22～23ページでも空港の特殊車両について紹介したけど、事故や災害時に活躍しそうな特殊車両もいくつかあるわよ。たとえば大型化学消防車とかね。

ソラチョ 空港には、災害や事故が起きないための対策や、起きてみすぐに対応できるようにしくみがあるんだね。



大型化学消防車
航空機や空港設備に火災が起きたときに出動する消防車。大型機が離着陸するような空港には、そなえることが義務づけられています。



除雪車両
滑走路に積もった雪をとりのぞく車両。東北や北海道など、雪が多く降る空港で活躍しています。



バードストライクを防ぐ

「バードストライク」とは飛行機に鳥がぶつかることです。小さな鳥でも、飛行中の飛行機にぶつかると、大きなダメージになり、故障につながります。鳥が飛ぶ高さは高度100メートル以下で、飛行機の離着陸時の高さとなるため、空港ではバードストライクが起こりやすくなっています。そのため空港では、鳥がいないか1日数回にわたってパトロールをしています。鳥がいれば散弾銃の空砲や火花、スピーカーなどで、大きな音を鳴らして追いはらっています。



資料提供：中部国際空港株式会社